

ハウスモモにおけるミカンキイロアザミウマの発生						
[要約] 1999年5月に県内3市町のハウスモモで、ミカンキイロアザミウマの被害が初確認された。果実における被害は、縫合線の部分または梗あ部が白色かすり状に脱色する。本種はハウス周辺の野菜、花き、果樹、雑草にも寄生する。						
長崎県果樹試験場・病害虫科	専門	作物虫害	対象	果樹類	分類	指導
平成11年度 長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

1999年5月に県内のハウスモモにおいてミカンキイロアザミウマの被害が初確認された。本種の被害状況および発生地域と今後の対策を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

ハウスモモにおけるミカンキイロアザミウマの被害は西有家町及び琴海町、佐世保市の3市町で確認され、被害面積は0.3ha(栽培面積8.3ha)である。発生地域は今後も拡大すると予想されるので、本種の発生動向に注意する(表1)。

ハウスモモ果実における被害は、縫合線の部分または梗あ部が白色かすり状に脱色し、被害が著しいと商品価値が低下する。加害箇所の腐敗は認められない。葉での被害は、新葉の奇形や、成葉が白色かすり状に脱色する(図1, 図2)。

本種はハウス周辺の野菜及び花き、果樹、雑草にも寄生するので、薬剤防除は出来るだけ広域で一斉に行うのがよい(表2)。

[成果の活用面・留意点]

モモで本種に登録のある薬剤はアーデント水和剤1,000倍(収穫前日まで使用可, 3回以内), コテツフロアブル4,000倍(収穫前日まで使用可, 2回以内)である。これら有効薬剤に対する本種の感受性の程度を検定する必要がある。

[ 具体的データ ]

図1 ハウスモモの果実の被害  
(中央の白色部分, すじ状)

図2 ハウスモモの葉の被害  
(周縁の白色かすり状の部分)

表1 モモのハウスに飛来するアザミウマの種類別虫数(粘着トラップ)

調査 期間 (月/日)	西有家町								琴海町			
	ミカン科 アザミウマ		ヒメハナ アザミウマ		キハナ アザミウマ		その他 アザミウマ		調査 期間 (月/日)	ミカン科 アザミウマ	ヒメハナ アザミウマ	その他 アザミウマ
	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄				
5/20 (9~12時)	17	24	1	0	0	0	0	0	6/11~ 6/18	9	4	0
5/29~ 6/1	45	21	2	0	3	0	0	0				
	(98%)		(2%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)					
	(93%)		(3%)	(4%)	(0%)							

- 注1. トラップの種類は刺瓜-青(10×25cm)で, 西有家町は面積の1/8を, 琴海町は1/2を調査  
 2. ( )内は全飛来数に対する各アザミウマ合計数の割合  
 3. 西有家町ハウスは5月21日にアーデント水和剤を散布

表2 ハウス周辺のジャガイモおよび露地ミカンの花に寄生するアザミウマの種類(西有家町)

採集植物	ミカン科 アザミウマ		ヒメハナ アザミウマ		キハナ アザミウマ		ハナアザミウマ		ミミキ科 アザミウマ		その他 アザミウマ		キハナ アザミウマ		ダバウシ アザミウマ		幼虫
	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	
ジャガイモ	21	20	1	1	2	3	1	1	1	0	2	1	0	0	1	0	0
	(75%)		(4%)		(9%)		(4%)		(2%)		(6%)		(0%)		(2%)		-
露地ミカン	13	10	0	0	13	9	37	7	3	2	0	0	1	0	5	0	4
	(23%)		(0%)		(22%)		(44%)		(5%)		(0%)		(1%)		(5%)		-

- 注1. 20花の虫数, ( )内は寄生成虫合計数に対する各アザミウマ成虫雌雄合計数の割合  
 2. ジャガイモに寄生するその他のアザミウマの種類はヒメハナアザミウマ, ダバウシアザミウマ  
 3. 調査: 1999年6月1日

[ その他 ]

研究課題名: 果樹の特殊病害虫発生状況調査

予算区分: 県単

研究期間: 平成11年度(昭和58年~)

研究担当者: 中村吉秀, 太田孝彦(果樹試験場), 病害虫防除所, 専技(農業技術課), 農業改良普及センター, 各JA